

秋葉就一の2021年度予算委員会質疑の一部他

2月17日の予算審査特別委員会及びその前後の要望活動等から

【1. 新型コロナウイルス感染症対策】

1-1. 主要事業中の「検査体制の確保」に「保健所・衛生研究所における検査」として1.85億円、「地域外来等」委託として2.5億円計上とあるが、4月以降それぞれ概ね何か月分の想定か。

〔健康福祉部〕概ね半年分。

1-2. 2月補正予算計上も含め、保健所・衛生研究所のPCR検査器購入の予定はあるか。

〔健康福祉部〕保健所への購入予定はある。習志野保健所と野田保健所に1台ずつ。

（その後のヒアリングで3月上旬に納品済みと確認。）

1-3. 発熱患者対応医療機関のうちの指定医療機関（そのうちの一部が県HP等で公表対象）の数は、市川保健所管内と習志野保健所管内でそれぞれいくつか。

〔健康福祉部〕2月11日現在で、対応医療機関数はともに99。うち指定医療機関数は、市川保健所管内が49、習志野保健所管内が68。

（【秋葉の要望】：市川保健所の方が管内人口が習志野保健所よりも多いのだから、市川保健所管内の指定医療機関をもっと増やしてほしい。同保健所管内のPCR検査は千葉県衛生研究所と習志野保健所が担当しているから、市川保健所管内の指定医療機関が増えないと習志野保健所の検査能力が圧迫されるおそれあり。）

1-4. 千葉県発熱相談コールセンター（03-6747-8414、24時間対応）は現在最大14回線だが、令和3年度予算では最大何回線まで増設可能か。

〔健康福祉部〕感染状況等を見極めながら対応していく。

（【秋葉の要望】：状況に応じて増やせる契約にすべき。また、市町村の窓口や、指定医療機関のうち名称等公表可能な医療機関の名称や連絡先の周知・広報にも注力すべき。）

なお、現在の千葉県発熱相談コールセンターの番号は3月末までで、4月1日からは⇒0570-200-139

【2. 児童相談所の改善について】

2-1. 児童相談所第三者評価事業について、令和2年度の実績や契約状況はどうか。

〔健康福祉部〕実績がある県外のNPO法人に委託。対象は東上総児童相談所のみ。契約額は約178万円。

2-2. 評価項目に「一時保護の要否」も含まれているか。

〔健康福祉部〕含めている。

2-3. 同評価事業の令和3年度予算160万円の積算根拠は（何か所分かなど）。

〔健康福祉部〕2ヶ所を予定している。

【3. 熱中症対策について】

3-1. 過去3年の本県の熱中症搬送は4年前以前と比べて2倍近くに増えているが、熱中症予防のための取組は。

〔環境生活部〕県民だより、千葉テレビ等への依頼、ポスター、公式サイト等で注意喚起している。

3-2. 県内の熱中症搬送件数等について、死亡・重症等と市町村の内訳も含め、発生日の当日または翌日に県HPに掲載すべき。東京都・神奈川県・埼玉県等は既に掲載しているだけでなく、一定の分析もある。

〔防災危機管理部〕搬送件数など県内市町村消防本部等から提供があった情報を集計してその日の夕方に報道機関に提供するのみで、公式サイト掲載はおこなっていないが、今後他部局とも協議の上検討する。

【4. 耕作放棄地再生推進とソーラーシェアリング】

4-1. 本県の耕作放棄地再生推進事業は、再生後にソーラーシェアリング（営農型太陽光発電施設）を設置しようとする場合にも申請可能か。

〔農林水産部〕（当該地権者以外の者による申請や、再生後5年以上耕作、市町村による再生費用の25%負担など）他の場合にも適用される一定の条件はあるが、基本的には申請可能。

八千代市には、県下共通24時間対応の新型コロナウイルス発熱相談ダイヤル（4月～、0570-200-139）の電話番号等を大きく広報やちよ1面に掲載するよう要望中。

・千葉県新型コロナウイルスワクチン副反応等専門相談窓口の電話番号：03-6412-9326

※地方議員志望者・若者（18歳～30代）インターン及び事務所有給スタッフ・事務所ボランティア募集中